

## 平成26年度 児童養護施設 沖縄県立石嶺児童園 指定管理者 モニタリングシート

## I. 履行確認

## 1. 維持管理業務

## (1) 清掃

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
<日常清掃>		現地確認	適正	現地において確認したところ、適正に実施されていた。
<定期清掃>	全体清掃(月2回) 貯水槽清掃(2/20)	実績報告書及び現地確認	適正	実施報告書及び現地確認により、適正に処理されていた。

## (2) 保守・点検

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
(電気設備点検)	毎月1回 (財)沖縄電気保安協会	実績報告書、契約書等により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた。
(井水水質点検)	隔月1回 (株)ビコー	実績報告書、契約書等により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた。
(消防点検)	年2回(株)正太商事 平成26年9月5日 平成27年2月10日	消防点検報告書、契約書等により確認	適正	点検により設備の不動作や誘導灯のバッテリー不足の指摘を受けているが、速やかに修繕を行うなど適切に対応している。
(汚泥・廃油処理)	毎月1回 (有)沖縄クリーン工業	実績報告書、契約書等により確認	適正	実施報告書により、適切に処理されていた。

## (3) 保安・警備

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
	毎日 17:00～8:30 常駐1名 日清ビル管理	警備日誌、契約書等により確認	適正	警備日誌及び契約書により適正に処理されている。

## (4) 小規模修繕(4月～3月)

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
(当初予算) 1,307千円	62件、¥1,984,942 シロアリ被害修繕工事、草刈り機、非常用電源装置、消防設備、外灯水銀灯基礎補強、洗濯機、衣類乾燥機等	修繕費一覧表、納品書等で確認	概ね適正	納品書の日付漏れ、宛名漏れ等が一部見受けられたため、適正な書類整備を要する。

## (5) 備品購入(4月～3月)

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
(当初予算) 3,189千円	28件、¥2,594,045 草刈り機、パソコン、対面カウンター、エアコン、巧技台、カーマット、フードプロセッサ、AED等	備品購入一覧表、納品書等で確認	概ね適正	概ね適正に処理されている。購入する際に複数の見積もりを取るなど、経費節減にも努めている。

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加して記入してください。

## 2. 運営業務

## (1) 利用実績

## 1) 入所児童(措置児童)

	定員	年度実績 (月末在籍平均)	検証	分析
入所児童数	90	85.6	適正	児童相談所からの依頼に適切に対応しており、高い入所率で推移している。

## 2) 入所児童(一時保護)

	定員	年度実績 (月別実人員平均)	検証	分析
入所児童数	—	0.7	適正	児童相談所からの依頼に適切に対応している。

## (2) 帳簿等の整理状況

区分	実施内容		検証	分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
養護記録 日報 自立支援計画書 心理関係 家庭復帰関係 園内保育関係 給食関係 支出関係	○各帳簿等の作成、管理状況を確認 ○各種記録等の整理状況を確認 ○各種記録等の内容、決裁状況等を確認		○必要な帳簿等は作成され、適正に整理・保存・管理されている。 <b>【支出関係】</b> 概ね適正に処理されているが、一連の会計書類がまとめて保管されていないものが散見された。 <b>【給食関係】</b> 適正に処理されている。	○帳簿等を確認したところ、適正に管理されていた。 <b>【支出関係】</b> 会計書類は経費別に一冊に集約したうえで庶務担当等において保管することが望まれる。領収書、請求書の日付欄、あて名欄が空欄になっている箇所が数カ所あったので、今後改善して頂きたい。 <b>【給食関係】</b> 前年度に指摘のあった給食については、児童への食事提供前に実施するなど改善が図られている。

## 3. 行事等の実施状況

区分	実施内容		検証	分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
園内会議関係	<p>養護会議・寮担当者会議(月2回)、全体職務会・生活指導委員会・家庭支援ケース検討会議、心理療法ケース検討会議(月1回)、個別対応ケース検討会議、給食委員会(隔月1回)を定例実施。児童カンファレンスは都度実施の他、朝会等を活用して行い、リーダー会議も他の会議実施後に効率的に実施する等し、会議数をおさえ、職員の負担軽減を図っている。各児童相談所主催の施設ケアを、各2回実施している。</p>	<p>○各帳簿等の作成、管理状況を確認 ○各種会議の開催状況記録等の整理状況を確認 ○各種記録等の内容、決裁状況等を確認</p>	<p>○必要な帳簿等は作成され、概ね適正に整理保存、管理されている。 ○月2回開催としている寮担当者会議を予定通り開催する事が出来ない寮があった。 ○会議録は概ね適正に作成されているが、決裁を行う会議と、データのみ共有し、決裁までは行わない会議がある。 ○給食委員会が隔月1回の実施がされていない状況。年間実施回数4回(5月、8月、9月、1月)</p>	<p>○必要な帳簿等は作成され、概ね適正に整理保存、管理されている。 ○各園内会議については、議事録の在り方(決裁等)について検討を行う事が望まれる。 ○給食委員会については、適切な実施回数について検討することが望まれる。</p>
園外会議関係	<p>園主催の連絡協議会を小学校1回、中学校3回開催。地域のまちづくり協議会、首里ネットワーク会議、青少年健全育成協議会等には、構成メンバーとして、参加している。</p>	<p>○各帳簿の作成、管理状況を確認 ○各種会議の開催状況、会議内容等を確認</p>	<p>○適正に整理保存、管理されている。</p>	<p>○学校との協議内容等を活用するとともに、引き続き緊密な連携を必要とする。</p>
履行すべき行事	<p>避難訓練(月1回)、総合避難訓練(年1回)、残食調査(年2回)、嗜好調査(年1回)等を実施。</p>	<p>○各帳簿等の作成、管理状況を確認 ○実施計画書、実施報告書等により実施状況を確認</p>	<p>○適正に整理保存、管理され、実施内容も適正である。 【残食調査、嗜好調査】 適正に実施されている。</p>	<p>○適正に整理保存、管理され、実施内容も適正である。</p>
主な行事	<p>園外レク、ビーチパーティー、年末レク、壮行会等を実施。球技大会、スポーツ大会にも参加している。</p>	<p>○各帳簿等の作成、管理状況を確認 ○各種行事ごとに計画書、報告書等により実施状況を確認</p>	<p>○適正に整理保存、管理され、実施内容も適正である。</p>	<p>○適正に整理保存、管理され、実施内容も適正である。</p>
職員研修	<p>県外研修へ13名の派遣、県内研修へ47名の派遣、園内研修を5回実施。</p>	<p>○各帳簿等の作成、管理状況を確認 ○各研修ごとに参加状況、報告書等により実施状況を確認</p>	<p>○帳簿等について適正に整理保存、管理されており、研修にかかる予算(旅費、研修費)も組んで計画的に対応している。 ○県外研修へも積極的に参加し、様々な職種の職員を研修へ派遣しており、施設全体での資質向上に努めている。</p>	<p>○園内研修の開催、県内外研修へ積極的に派遣しており、職員の資質向上に努めている。 今後とも継続した取り組みに努めて頂き、各職員の意識向上を図るためにも、研修内容の共有方法についても検討いただきたい。</p>

## Ⅱ. サービスの質の評価

評価項目	指定管理者 自己評価	分析	評価・改善要望
維持管理業務	施設・設備管理 県予算対応で、外部からの侵入防止の各寮庇の設置、各寮浴室や縁側の改修、管理棟屋上防水工事や厨房棟等の瓦補修等、大規模修繕を実施できた。また、非常用電気設備を整備し、台風時の停電に備えた。	適正に実施されている。	浴室の改修や屋上への進入防止工事により衛生面や安全面において改善が図られている。今後も全職員で危険箇所等を把握し、児童にとって安心・安全な住環境提供に努めて欲しい。
運営業務	入所児童の生活指導 事業計画の支援目標の中に「管理的な日課や規則の見直し」を掲げ、生活指導委員会等で常に見直しを行っている。また、26年度に看護師が勉強会を実施し、職員に対して歯の仕上げ磨きや入浴の際の身体の洗い方を指導した。27年度からは、直接寮に入って現場指導も行っており、子ども達の生活指導の充実を図っている。 また、年度末に性教育委員会を立ち上げ、ネット犯罪等も含めた幅広い内容の性教育を計画し、実施していく予定である。	概ね適正に実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心・安全な生活の場を提供するために、子どもの意見をくみ取りながら性教育委員会等を活用し、支援の向上に努めて頂きたい。</li> <li>・今後も職員研修等とおして職員の資質向上を図ると共に、実践に生かせるよう努めて欲しい。</li> </ul>
	入所児童の自立支援 26年度は、高校生の中途退学は出なかった。高校に入学後、園生活に不満を感じ、家庭復帰を望む児童もいることから対応を図っている。高校卒業まで支援の必要な子どもについては、子どもの意見を取り入れながら、園全体で支援していける体制作りに取り組みたい。 26年度は、島添の丘の御厚意で、エンジェルサポートセンター主催のリービングケア講習に、合同で受講することができた。他施設の児童と共に、外部講師の講義や実技指導で、いつもより積極的に受講する児童が多く、大変有意義なものになった。	工夫を凝らし概ね適正に実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度は中途退学者が出なかったことは評価できる。</li> <li>・園生活に対する不満については、子ども達の意見を取り入れながら充実した園生活が送れるよう取り組んでもらいたい。</li> <li>・リービングケアについては、園内のみならず、他機関とも連携し計画的に取り組んで欲しい。</li> </ul>
	児童相談所との連携 引き続き、連携を密にし、適宜状況報告を行い、連携を充分に図るよう努めている。	概ね適正に実施している。	両児童相談所との連携は良好な状態で維持されている。
	内部的な事務処理 協定書に基づき、月例報告を適正に行うことで、期限内処理が可能となった。	概ね適正に実施している。	おはなしばこに寄せられた子ども達の意見に対する処理手順を今一度確認して欲しい。
	施設内虐待 年度末に、職員の体罰が疑われる事案が発覚したことから、児童相談所に報告を行い、児童アンケート、面談等により調査を実施し、その結果についての報告も行った。また、情報を職員会議で共有し、園内研修を実施したところである。施設内虐待防止に向けて、今後も園内研修、職員面談等を予定している。	平成26年度に施設内虐待の疑いが1件発生している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査結果等から発生要因の分析、及び課題を把握し適切な再発防止策を講じること。今後は虐待に繋がりにくい問題を早期に吸い上げ、施設全体で組織的に対応する体制作りを構築すること。</li> </ul>

行事等の実施状況	<p><b>行事等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・26年度、ボランティアの方達による臨床美術や料理教室、スポーツ交流に加え、新たに琉舞指導、体幹指導等のボランティアを実施していただき、琉舞に関しては、発表会や壮行会でもお披露目できた。現在も継続中である。</li> <li>・つぼみ保育園は、警察署やスーパーマーケット等に出向き、社会見学を実施したり、積極的に園外保育を行っている。</li> <li>・小学生会は「いしみねチャレンジ子ども会」と名称変更し、子ども達の意見を取り入れながら、「子ども会キャンプ」や「新春かるた・コマ回し大会」等を実施。27年度は、企画からすべて子ども達で行う行事を計画中。</li> <li>・定例行事となったダブルツリーbyヒルトンのホテルツアーや沖縄電力の料理教室も実施。27年度は職業指導の一環として、職業体験・自立訓練としての工夫を検討中である。</li> </ul>	工夫を凝らし概ね適正に実施している。	子ども達の前向きな活動を促すため、小学生の子ども会の名称を変更し子ども達自身で行事を企画させ、達成感や充実感を体験できる取り組みを行っていることは評価出来る。今後ともこのような工夫を続けて欲しい。
	<p><b>職員研修</b></p> <p>引き続き、県内外の研修に積極的に職員派遣し、できる限り多くの職員が参加出来るように努めている。園内研修では、琉大の本村先生との事例検討会を昨年に引き続き実施。また、坂本博之さんによる講演会を実施し、児童と共に、職員も参加している。今後は、専門職による勉強会を増やし、更なる資質向上に努めたい。</p>	概ね適正に実施している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後とも職員の資質向上のために、県内外の研修の計画的な実施に努めると共に、職員のモチベーションを高めるため自己評価を取り入れるなど実践で生かせるように取り組み、職員の定着を高めることによるノウハウの蓄積に努めて欲しい。</li> </ul>
総合評価	<p>地域との関係は引き続き良好に保たれ、いしみね地域福祉祭やまちづくり協議会主催のグランドゴルフ大会が当園で実施され、また、多くの行事に多くのボランティアの支援も頂いている。年度中に小学生の子ども会は名称を変更して諸活動を展開した。高校3年生は、エンジェルサポート自立支援プログラムを受講し、貴重なリービングケアとなった。</p> <p>財政面では、措置費の民間給与等改善費の区分が上がり、年少児加算のつく幼児の措置が増えたこと、寄付金の増加等で十分な歳入があり、比較的安定した事業推進ができた。また、県予算で、侵入防止の各寮庇の設置や各寮浴室改修等の大規模修繕が執行でき、安全で快適な環境整備が図られた。</p> <p>年度末には、「児童養護施設における人権擁護のためのチェックリスト(施設版、職員版)」について、全職員で実施し、施設内虐待防止の取り組み等に向け再確認する機会となった。</p>	概ね適正に運用されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事の充実や自立支援の取り組みなど、年々改善が図られている。</li> <li>・人権擁護のチェックリストを活用しながら、職員の資質向上及び問題行動の予防に向けて組織的に取り組んで欲しい。</li> <li>・児童の声を早期に拾い上げ、適切な対応を図ることで、施設内虐待の発生予防に努めて欲しい。</li> </ul>

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定してください。

Ⅲ. サービスの安定性評価

1. 事業収入

(1) 収入 (単位:円、%)

収入項目	事業計画		実績	対計画比 (%)	備考
	(当初)	(補正)			
指定管理料	249,667,000	244,694,000	245,000,424	98.1	事務174,147,117、事業70,853,307
一時保護受託料収入	0	331,000	330,960	皆増	中央・コザ児童相談所
寄付金収入	0	2,552,000	2,851,650	皆増	
雑収入	427,000	908,000	1,172,533	274.6	実習生謝礼金 他
受取利息配当金収入	2,000	2,000	2,256	112.8	
その他の補助金収入	7,416,000	7,262,000	7,262,000	97.9	療育支援事業
当該年度収入合計 (A)	257,512,000	255,749,000	256,619,823	99.7	
<業務改善に向けた分析>					

(2) 支出 (単位:円、%)

支出項目	事業計画		実績	対計画比 (%)	備考
	(当初)	(補正)			
人件費	153,226,000	157,092,000	155,211,261	101.3	
事務費	19,409,000	21,022,000	17,814,141	91.8	
福利厚生費	793,000	793,000	790,460	99.7	
旅費交通費	1,650,000	1,650,000	932,750	56.5	
研修費	570,000	570,000	402,383	70.6	
消耗品費	1,080,000	1,530,000	1,417,724	131.3	事務用消耗品の増
器具什器費	789,000	789,000	716,072	90.8	
印刷製本費	450,000	450,000	361,010	80.2	
水道光熱費	1,808,000	1,808,000	1,170,455	64.7	
燃料費	103,000	153,000	83,438	81.0	
修繕費	1,307,000	2,107,000	1,984,942	151.9	シロアリ被害に係る修繕等の増
通信運搬費	1,665,000	1,665,000	927,998	55.7	
広報費	60,000	63,000	62,200	103.7	
業務委託費	3,602,000	3,802,000	3,681,912	102.2	
手数料	872,000	872,000	548,985	63.0	
損害保険料	152,000	152,000	148,490	97.7	
賃借料	2,297,000	2,407,000	2,393,251	104.2	
租税公課	20,000	20,000	1,200	6.0	
雑費	2,191,000	2,191,000	2,190,871	100.0	
事業費	71,102,000	74,702,000	71,499,294	100.6	
給食費	24,453,000	24,453,000	24,452,844	100.0	
保健衛生費	933,000	2,103,000	1,965,440	210.7	義足交換、シロアリ薬剤散布の増
被服費	2,500,000	2,600,000	2,155,725	86.2	
教養娯楽費	2,882,000	2,882,000	2,326,866	80.7	
日用品費	756,000	856,000	706,406	93.4	
保育材料費	190,000	390,000	305,379	160.7	ここサポ心理療法用遊具等の増
水道光熱費	12,150,000	12,250,000	11,882,451	97.8	
燃料費	1,150,000	1,200,000	922,862	80.2	
消耗品費	1,700,000	1,800,000	1,559,538	91.7	
器具什器費	2,400,000	3,150,000	3,050,190	127.1	AED、巧技台の購入に係る増
賃借料	2,762,000	2,862,000	2,772,646	100.4	
教育指導費	12,790,000	13,310,000	13,113,123	102.5	
本人支給金	5,130,000	5,490,000	5,396,590	105.2	
医療費	475,000	525,000	391,316	82.4	
雑費	831,000	831,000	497,918	59.9	
予備費	13,775,000	2,933,000	0	0.0	
当該年度支出合計 (B)	257,512,000	255,749,000	244,524,696	95.0	

当該年度収支差額(C)=(A-B)	0	0	12,095,127		
前年度末支払資金残高(D)	3,791,646	3,791,646	3,791,646	100.0	寄付金(3,568,624) 指定管理料(223,022)
当期末支払資金残高(E)=(C+D)	3,791,646	3,791,646	15,886,773	419.0	寄付金(4,223,382) 指定管理料(11,663,391)
<業務改善に向けた分析>					

## 2. 経営分析指標

評価指標	事業計画 (当初)(a)	事業計画 (補正)(b)	実績 (c)	対計画比 (%)	備考
事業収支 (収入(A)－支出(B))	0	0	12,095,127		
人件費比率 (人件費／支出(B))	59.5	61.4	63.5	106.7	H25人件費比率(64.0)
<p>&lt;業務改善に向けた分析&gt;</p> <p>寄付金の増や年度末の措置費支弁基準改正により、事業収支について約1,200万円の黒字となっているが、支出の事業計画と実績に大きな差異はなく、概ね順調に執行できたと考える。今後は児童への援助の更なる充実や施設の環境改善等にも積極的に取り組み、収支のバランスを保つことを心がけて欲しい。</p>					

### ※経営分析指標の評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。
人件費比率	人件費／支出	支出の中で人件費が減らされすぎていないか、それにより効率が低下していないかを確認する。

## 3. その他の指標

評価指標	事業計画 (当初)	事業計画 (補正)	実績	対計画比 (%)	備考
給食費対事業費支出割合 (給食費／事業費支出)	34.4	32.7	34.2	99.4	
児童1人1日当たり給食費 (給食費／(月末在籍平均児童数+ 月別一時保護実人員平均)／365)			777円		H20:742円 H21:593円 H22:632円 H23:639円 H24:650円 H25:742円
<p>&lt;業務改善に向けた分析&gt;</p> <p>一時期は低かった一人当たりの給食費も、食材等の見直しを図ることで年々増加してきている。今後も食育の観点から児童への給食には十分に配慮した計画を立てて欲しい。</p>					